

一般質問通告書(平成 20 年 12 月定例会)

氏名・答弁先・質問事項	質問要旨
<p>1 2番 村上 和子 1 介護従事者対策と介護保険料の見直し措置について (町長)</p>	<p>1 2009年4月から介護報酬が見直しされることになり、2年前の改定では介護報酬の減額改定によって、人件費を削減する流れで退職者が増える一方で補充も進まないという状況にあり人手不足が深刻化しているが、町の介護従事者の平均年齢は何歳か。また、町としては職場環境改善、また、賃金等の見直しについてどのように考えているのか。 2 介護従事者の報酬の見直しは当然あってしかるべきと考えるが、これによって2009年4月からの介護保険料の改定に影響をきたし、値上がりすることになりはしないか。2008年まで市町村民税が前年度非課税だった人が次年度課税になった場合、激変緩和措置がとられたが、2009年4月からこれらに対する措置はどうか。介護保険の事業計画の介護サービスの見込量や保険料の見直しは。</p>
<p>2 学校施設の安全性の確保について (教育長)</p>	<p>児童・生徒が一日の大半を過ごすとともに地域住民等多くの人たちが利用する学校施設。また、災害発生時には児童・生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の緊急避難場所としての役割を果たすことから、学校施設の外壁、建具、ガラス、内装材、天井材、床材、屋根材、電気、機械設備、備品といった非構造部材等、チェックリストを作り定期的に検査し、修繕改修計画等学校施設の安全性の確保が必要ではと考えるがどうか。</p>
<p>3 学習指導要綱の改定がなされたが、上富良野町としての教育の取り組みについて (教育長)</p>	<p>1 今年、文部科学省で学習指導要綱の改定が行われ、引き続き「生きる力」の育成、削減されてきた総授業時間数を理科・算数・英語等を中心に増やす一方、総合的な学習の時間及び選択教科の削減、小学校高学年への外国語活動の新設などが示された。これらの改定の方向性をどう受け止め、どのように取組んでいくのか。 2 ゆとり教育から学力重視への方向転換といえるが、ゆとり教育としての評価はどのように考えているか。 3 学習内容の変更や事業時数の増減に対しての進め方の中で、小学校5・6年生に対する英語の授業等について、円滑な移行への対応等はどのように考えているのか。</p>
<p>2 9番 中村 有秀 1 自主防災組織について (町長)</p>	<p>1 活火山十勝岳と共生する上富良野町民にとって、いつも仰ぎ見る十勝岳は各学校の校歌の一節に必ず入って歌われ、その四季折々に変化する景観の十勝岳は大きな観光資源である。しかし、十勝岳は大正15年大爆発(死者144名、罹災戸数315戸、水田被害500町歩、畑の被害300町歩)、昭和37年噴火(死者5名)、昭和63年噴火災害を経験している。 火災では昭和24年の8丁内(現在の北栄区)大火による罹災世帯は48世帯、焼失棟数112棟、焼失面積7,237㎡と大きな被害があり、その他山火事や住宅火災が発生している。</p>

また、集中豪雨・大雨による災害も数多く発生している。特に昭和36年7月24日から25日の集中豪雨は、住宅被害979戸、公共施設被害103箇所、田畑被害2,794haと大きな被害を受けており、その他台風とも含めて、田畑・山林・道路や用水路の被害等が数多く発生している。

その様な数々の災害の歴史の中で、上富良野町の昭和61年3月31日に「上富良野町防災計画」策定し、それに基づいて各々の分野で防災対策を行い、その一つとして自主防災の組織化が進められた。しかし、防災計画策定から20年を経て、内容が現行に合致しない点が数々あることにより、平成17年3月31日に全面改訂され「上富良野町地域防災計画」が策定され、町民の生命・財産を災害から守るために実施すべき事務等が定められた。

阪神・淡路大震災・北海道南西沖地震津波と火災等から、自主防災組織化への認識が深まり、町も自主防災組織の再編を住民会毎に推進しているが、自主防災組織化の状況と災害弱者(地域防災計画では災害時の要援護者)の対処について、下記の事項について伺う。

上富良野町の自主防災組織状況については、自治基本条例(案)の説明資料では「25住民会中、25住民会で結成されている」と記され、また、説明されているので、平成20年12月1日現在の自主防災の組織状況を住民会別に「名称、代表者、規約の有無、役員名簿、防災計画の有無、結成年月日、再編年月日、災害弱者への対応の有無」について明らかにすると共に、組織状況の取組みへの見解を求める。

災害時の要援護者、いわゆる災害弱者対策について、自治基本条例(案)の地域説明会で意見要望が出されています。

平成20年5月1日調査による「高齢者実態調査の概要」によると

- ・ 人口 12,226人
- ・ 65歳以上の人口 2,905人(高齢化率23.76%)
- ・ 独居高齢者 435世帯(22.1%) 435人(15%)
435人のうち75歳以上261人(60%)
- ・ 高齢者世帯 742世帯(37.8%) 1,339人(46.1%)
1,339人のうち75歳以上495人(36.2%)
- ・ 要介護者・虚弱高齢者(Jランク)総数565人(出現率19.4%)

平成25年度の推計(保健福祉課による調査報告書)

- ・ 人口 11,910人
- ・ 65歳の人口 3,073人(高齢化率25.8%)
- ・ 要介護者・虚弱高齢者(Jランク)総数716人(出現率23.3%)

以上の様に、平成20年5月1日の実態調査と平成25年度の推計を比較すると、65歳人口は168人増で25.8%で町民4人に1人が高齢者となり、要介護者虚弱高齢は151人増でその出現率

	<p>は23.3%となっている。</p> <p>これらの数値から「災害時の要援護者」は増加の一途で、その対策が強く求められ、町・地主・防災組織（住民会・町内会）・福祉団体が一体となった取り組みが急がれるが、その具体的な対策を問う。</p>
<p>2 里仁地区の景観と「十勝岳アートビュー」の建設について (町長)</p>	<p>1 里仁地区の「景観づくり重点地区」指定について 平成19年度の町行政執行方針で尾岸町長は、里仁地区を「景観づくり重点地区」と指定することを前提に、地区住民の皆様の意見反映に努め、地区計画の策定など、地区内における景観整備の方向性を明らかにしてまいります。と言明されたが、年度は変わったが、この方針はどうなったのか伺いたい。</p> <p>2 「十勝岳アートビュー」建設について 深山峠地区に大観覧車の設置として「十勝岳アートビュー」建設着工が新聞報道され、上富良野町民や町外の人で景観に関心を持つ人から「素晴らしい景観を失う」との声が聞かれる。できれば自然に見ることできる現在のままの景観を残してほしいとの意見がある。上富良野町景観条例関係を含めて、次の点について伺う。</p> <p>町への建設申請年月日と建設計画内容 里仁地区の地域説明会の開催年月日、参加人員、説明内容、地域住民の要望・意見 上富良野町景観づくり推進会議への諮問年月日と諮問内容 景観づくり推進会議の検討協議経過と答申内容</p>
<p>3 日の出公園臨時駐車場について (農業委員会会長) (町長)</p>	<p>平成20年9月第3回定例会にて、日の出公園臨時駐車場が農地法第5条違反の状態が16年にわたって使用されていたことが明らかになった。</p> <p>町は「上富良野町事件事故審査委員会規程」、「上富良野町行政処分審査委員会規則」による委員会と、上富良野町農業委員とで構成する協議組織（11名）による「日の出公園臨時駐車場に関する報告書」（11月14日付）と上富良野町農業委員会による「農業委員会における日の出公園臨時駐車場の対処に関する考察」（11月25日付）を、平成20年12月1日に議長により配布受領した。</p> <p>この「報告書」及び「考察」について、次の点について伺う。</p> <p>「農業委員会における日の出公園臨時駐車場の対処に関する考察」について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「対処に関する考察」の農業委員会会長としての真意は。 2 「農地法違反が解決した」と記されているが、全面的に解決したと判断しているのか。 3 再発防止策を具体的に進められているようだが、「上富良野町農業委員会規則」、「会議規則」、「事務局規程」のどの事項条目をどう改正整備したか明示し説明を求める。また、未整備部分があれば、その事項を明らかに。 4 駐車場の対処に関し、町の行政情報コーナーに開示のない次の臨時総会の協議内容。

	<p>平成 20 年 9 月 8 日開催の第 3 回農業委員会臨時総会 平成 20 年 9 月 26 日開催の第 4 回農業委員会臨時総会</p> <p>5 今回の農地法違反について、農業委員会会長としての責任をどのように考えているのか伺いたい。</p> <p>「日の出公園臨時駐車場に関する報告書」について</p> <p>1 審議回数 10 回と精力的に審議したことが伺えるが、協議組織構成（11 名）が全員対象として審議されたのか。</p> <p>2 処分量定については、「上富良野町職員の懲戒に関する訓令」に照らし該当する項目は「虚偽報告」「指導監督不適正」「信用失墜行為」であると報告されているが、それ以外の項目はないのか。</p> <p>日の出公園臨時駐車場の廃止に伴う当面の措置について見解を求める。</p> <p>1 本年冬のイベント関係駐車場確保は。</p> <p>2 平成 21 年夏のイベントに向けての駐車場対策は。 （社）かみふらの十勝岳観光協会及び地権者への関係</p> <p>1 農業委員会の不適切な事務処理が問題の要因になっていることから、町、農業委員会が観光協会及び地権者にお詫びに行くべきと考えるがどうか。</p> <p>2 かみふらの十勝岳観光協会は、臨時駐車場賃貸料を地権者に支払ったと聞かすが、町のかみふらの十勝岳観光協会への賃貸料の補助金額と支払について伺う。</p>
<p>4 上富良野中学校の駐輪場について （教育長）</p>	<p>上富良野中学校生徒の自転車通学は、平成 7 年度までは通学距離 1.5km 以上遠になっていたが、平成 8 年度の生徒総会で学級提出議題として「自転車通学を全校生徒に許可してほしい」との提案があり、自転車置場の問題があったが、交通安全に対する意識の高まり、生徒会活動の活性化に期待し、学校として取り組むことになった。生徒会を中心に問題解決を図り、平成 8 年 7 月より試行期間がスタートし、その後完全実施となった。</p> <p>平成 20 年度の全校生徒 328 名で、自転車通学生徒数は 304 名と全生徒数の 92.7%となっているが、通学自転車用の駐輪場は平成 7 年度のままで、屋根付駐輪場に入れ切れない自転車が 3 分の 1 もある。現在の駐輪場の利用状況を平成 20 年 9 月 13 日の第 62 回学校祭の当日に調査した結果は下記の表 1 のとおりである。</p> <p>駐輪場は各学年別に整然と駐輪されており、各々の学年毎に生徒自らの駐輪上の注意書きがあり、自主的に駐輪の維持に取り組んでいる姿勢が見られたが、駐輪場の問題について、次の 2 点について早急な取組みについての見解を求める。</p> <p>屋根付駐輪場の増設 屋根付駐輪場は、3 年生用・2 年生用は各 2 棟あり、1 年生用は 1 棟である。調査日の実態</p>

から屋根付駐輪場は171台で屋根なしは81台となり、全体の32%になっており、そのうち68%が1年生の駐輪である。

雨天の日は自転車通学禁止となっているが、登校後の降雨もあるので、屋根付駐輪場の増設を行うべきと判断するので、その措置について教育長の見解を伺う。

自転車駐輪置台の設置

自転車通学許可者は304名であるが、常時250から280名くらいの生徒が自転車通学されている。駐輪場は指定された学年別に整然と駐輪されているが、駐輪場が狭隘のため、寄せて駐輪するために度々ドミノ倒しの様に自転車が倒れる状況が発生していて、その立直しに生徒が苦労している。

財政上の問題があるが、年度計画で自転車置場の設置について強く求める。

表1 現在の駐輪場の利用状況 平成20年9月13日調査(学校祭)

位置	色別	学年別	屋根付内	屋根なし	合計
第1	緑	3年	36台	8台	44台
第2	緑	3年	37台	6台	43台
第3	赤	2年	40台	7台	47台
第4	赤	2年	34台	5台	39台
第5	黄	1年	24台	21台	45台
第6	黄	1年		34台	34台
合計			171台	81台	252台

3 10番 和田 昭彦
1 第6次上富良野町農業振興計画の策定について
(町長)

平成16年度策定の第5次農業振興計画によると平成15年の農家戸数が461戸で目標年度の平成20年の予測が10%減の419戸となっていた。しかし、現在の戸数は343戸で25%も減少している。JAふらのが平成20年に実施した農家の意向調査によると「後継者がいる」が21.8%。「後継者になりそう」が7.1%で合計でも28.9%にしかならず、そんな状況を考えて時、将来200戸を割ることは必須と思われる。

離農跡地を残っている農家が引き継ぐとなれば、1戸平均30ha以上の大規模経営となるが、圃場が点在し農機具の移動に時間や燃料を費消し、作業効率が悪く管理が十分行き届かなくなり、自然景観の保全ができなくなることも予想されます。

- 1 5年後、さらに10年後の農家戸数は何戸になると予測しているか。
- 2 圃場の集積を区画整理で一圃場の拡大を図り、大型機械が効率よく作業できるように農地の交換分合及び交換耕作の推進を振興計画に盛り込んでどうか。

	<p>3 また、大型コンバイン、大型フォレージハーベスターが安全に移動、走行できるように、特に狭い町道や取付道路の拡幅を図るべきではないか。</p>
<p>2 「かみん」多目的ホールの音響の改善について (町長)</p>	<p>文化関係団体の悲願であった文化ホールの建設は優先順位の低さで先送りされているうちに、財政難となり消滅してしまったが、その代替として文化関係団体が100歩譲って作られたのが、保健福祉総合センター「かみん」の多目的ホールである。</p> <p>しかし、この出来上がったホールは多目的ということもあって、極めて音響効果の悪い、コンサートには不向きなホールである。</p> <p>様々な工夫をして使っているが、公民館の方がいくらか音響が良いので、公民館を使用することが多い傾向にあるのが実状である。</p> <p>折角作られたホールなので、有効に利用されるため、また、音楽文化の振興の面からもホールの音響状態を調査し、反響板等の設置をして改善を図ってほしい。</p>
<p>4 5番 米沢 義英 1 障害者就労支援について (町長)</p>	<p>上富良野町には、障害者の方が入所や就労できる施設や、福祉作業施設がない。障害者の親からは、町にも生活の場所、就労の場所として、通所できる福祉作業所設置を切望する声がありますが、次の項目について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町長は、福祉作業所設置を願う親の気持ちをどのように受け止めているのか伺いたい。 2 利用されていない、町立病院の看護宿舎を福祉作業施設として活用できないのか伺いたい。 3 福祉法人と連携して、通所できる作業施設を誘致するなどの対応が必要と考えるが。
<p>2 介護保険制度について (町長)</p>	<p>上富良野町の介護保険特別会計は、黒字決算になっているが、次の項目について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 65歳以上の高齢者が納める介護保険料の納付金額と給付の現状について伺いたい。 2 介護保険特別会計の決算が黒字であれば、その分を介護サービス内容の充実や介護保険料の引き下げに振り向けるべきと考えるが。
<p>3 非常勤職員の処待遇改善について (町長)</p>	<p>国においては、人事院勧告で非常勤職員の「給与決定に関する指針」を策定した。そこには、時給や手当などについての改善策が盛り込まれているが、今後、町においてもその指針を非常勤職員等の待遇改善等にも準用すべきと考えるが、対応について伺いたい。</p>
<p>4 西小学校の環境整備について (教育長)</p>	<p>西小学校の校舎は改築されたが、体育館は昭和44年に建設されてから、年数も経過して老朽化が進んでいる。また、グラウンドについては雨などが降ると水はけが悪く課外授業にも支障が出ており、早急に整備を求める声も出ているが、今後の対応について伺いたい。</p>
<p>5 グラウンドの照明灯設置について (教育長)</p>	<p>上富良野町の小中学校においては、吹奏楽・野球・ソフトテニス・陸上等などで子どもたちが活躍しているが、屋外を利用する部活動は、天候や季節によって外での運動時間が減ってしまう。</p> <p>保護者からも照明灯の設置を望む声もありますが、対応について伺いたい。</p>